

ニンジンの 品質向上・鮮度保持に カルシウム強化栽培！



ニンジンには β -カロチンの含有量が他の野菜類と比較して最も多く、ビタミンB1、ビタミンB2、ビタミンCも豊富で、カリウム、カルシウム、食物繊維などの栄養成分を含んだ健康野菜です!!

【硫酸カルシウム肥料】



カルゲン®

【粉状・粒状】15 kg入り

ニンジン栽培の特長

- ◆ 栽培適性の土壌 pH は 6.0～6.5（pH が 5.3 以下になると生育が低下する）
- ◆ 土質は耕土が深く、通気性・排水性のよい砂質・火山性土壌を好むが、腐食が富んだ土壌では着色が良くなるので泥炭地でも良品の収穫が可能
- ◆ 生育適温は暑さにも耐えるが、18℃～21℃と比較的冷涼な気候を好む
- ◆ 生育の途中で根の先端が障害にあたると又根になり易いので、畝を作る際には石やゴミ又は草や前作の残差や土の塊などを取り除いておく
- ◆ ニンジンの葉部と根部に多量のカルシウムを吸収されており、欠乏すると根部の表面がくぼみ腐敗（キャビティスポット）するのでカルシウムを十分に与えておく

養分吸収量（収穫 1 トン当たり） kg

チッソ N	リン酸 P ₂ O ₅	カリ K ₂ O	カルシウム Ca	マグネシウム Mg
4.1	2.4	14.0	8.1	1.1

カルゲンとは・・・

- ◆ カルシウムとイオウが結びついた石膏（農業用石膏）を主原料に製造したカルシウム特殊肥料
- ◆ 酸性のカルシウム肥料ですから土壌の pH が上昇することなく、連用することで土壌を団粒化して、有効微生物の繁殖を促す
- ◆ 石灰類（炭カル）に比べ約 170 倍水に溶けやすく、作物に吸収されやすい水溶性のカルシウム肥料
- ◆ 作物が健全に生育するために必要なカルシウムの養分補給に最適
- ◆ 特に、窒素過剰による生育障害を軽減（拮抗作用）

カルゲン施用量（当社推奨基準）

	施用方法	施用量	備考
元 肥	全面土壌混和	2～4 袋/10 a	定植前（他の肥料と同時施用）
追 肥 1	畝間に施用	2 袋/10 a	畝間に施用
追 肥 2	葉面散布 （ネオカル水和剤又は カルゲンβ液剤）	100～150ℓ/10a	1,000 倍液 農薬と混用可能 （銅剤・アルカリ剤を除く）

☆ 上記の施用量は標準です。土壌診断を基準に施用量を増減してください。

☆ 酸性土壌の場合は石灰類等を加用してください。

☆ 詳しくは、お近くの販売店または営農指導員の方へお尋ねください。

《総販売元》



吉野石膏販売株式会社